断面修復用ポリマーセメントモルタル（一材型）

チチブベースタイトR

チチブ ベースタイトＲは特殊粉末樹脂をプレミックスした断面修復用ポリマーセメントモルタルです。
プレミックスタイプのため、現場では適量の水で練混ぜるだけで付着性・強度発現性・コテ塗り作業性に優れたポリマーセメントモルタルとなります。

特　長

- 既存躯体コンクリートに対して安定した付着性が得られます
- コテ塗り作業性や成形性に優れています
- プレミックスタイプのため水練りするだけで品質の安定したポリマーセメントモルタルが得られます

用　途

- コンクリート構造物の欠損部の断面修復
- 鉄筋かぶり厚さ確保のための補修

荷　姿

- 20kg / 袋（一材型）

仕　様

ベースタイトＲ（kg / 袋）	練混ぜ水量（ℓ / 袋）	1 袋当りの練り上がり量（ℓ / 袋）	1m³ 当りの使用量		可使時間（20℃）
			ベースタイトＲ（kg）	水量（ℓ）	
20（1 袋）	3.2	約 11.0	1,820（91 袋）	291	約 40 分

※練混ぜ水量は施工時の気温・練混ぜ方法・施工方法により異なりますので、3.0 ～ 3.6ℓ / 袋の範囲で調整して下さい

秩父コンクリート工業株式会社
CHICHIBU CONCRETE INDUSTRY CO., LTD

施工要領

❶下地処理

●施工面コンクリートの浮き、脆弱層、油分等は確実に除去し、健全なコンクリート面として下さい。
●鉄筋が腐食している場合は、錆を除去し、適切な防錆処理を行って下さい。
●乾燥下地はプライマー処理を行って下さい。
プライマー：チチブ エースボンド 4 倍液（エースボンド：清水＝ 1：3）

❷練混ぜ

下記の方法を目安に練混ぜ、練混ぜ終了後はダマのない事を確認して下さい。

標準配合		練混ぜ方法	
ベースタイト R（kg / 袋）	練混ぜ水量（ℓ / 袋）	攪拌用具	練混ぜ時間（分）
20（1 袋）	3.2	ハンドミキサー	2
		モルタルミキサー	3

❸塗付け

●金コテを用いて、シゴキ塗りを行った後、追っかけで 15mm 程度の塗り厚で塗り上げて下さい。一度に付ける塗り厚が 15mm 以上の場合は、先付けモルタルが締まり、動かないことを確認した後に塗り重ねて下さい。

❹養生

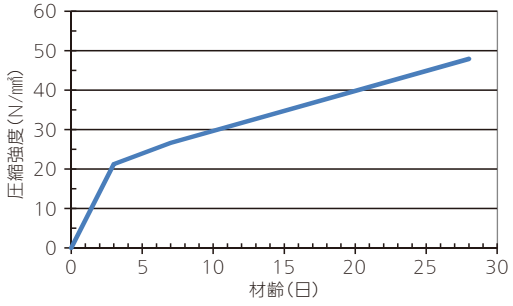
●施工後は、直射日光・風・降雨の影響を受けないように、シート等で覆い養生して下さい。
※施工は練混ぜた材料温度が 5℃～ 35℃の範囲で行って下さい。

性　能

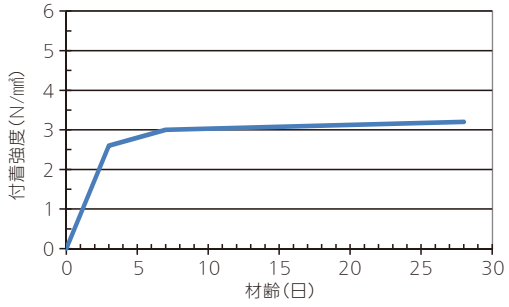
試験項目	試験材齢	測定値	規格値	試験方法
テーブルフロー値（㎜）	練混ぜ直後	147	-	JIS R 5201
単位容積重量（kg / ℓ）	練混ぜ直後	2.05	-	JIS A 1171
コンクリートとの付着強度（N/㎟）	28 日	3.2	1.0 以上	建研式付着試験 コンクリート平板
	温冷繰り返し後	3.1	1.0 以上	
曲げ強度（N/㎟）	28 日	13.2	6.0 以上	JIS A 1171
圧縮強度（N/㎟）	28 日	47.9	20.0 以上	JIS A 1171
静弾性係数（kN/㎟）	28 日	20.4	-	JIS A 1149
引張強度（N/㎟）	28 日	5.1	-	JIS A 1113
長さ変化（%）	28 日	0.06	0.15 以下	JIS A 1171

※ 1　規格値は建築改修工事監理指針「断面修復用ポリマーセメントモルタル」の品質基準（案）を採用
※ 2　測定値は当社の試験結果であり、品質保証値ではありません

圧縮強度発現性（20℃時）



付着強度発現性（20℃時）



⚠取扱い及び保管上の注意事項

本製品は、取り扱いが容易で安全性も高いものですが、下記の事項に注意して取り扱って下さい。

・取り扱いは換気の良い場所で行い、目や皮膚への接触を防ぐため、保護メガネ・保護マスク・ゴム手等の保護具を着用して下さい
・作業後は手洗い、うがいをして下さい。
・万一、目に入ったり、長く皮膚に付着した場合は、清水で充分に洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けて下さい。
・本来の用途以外には使用しないで下さい。
・材料は、直射日光や湿気を避けて保管して下さい。
・子供の手の届かない所に保管して下さい。
・詳細な内容が必要な場合は、安全データシート（SDS）をご参照下さい。

chichicon　秩父コンクリート工業株式会社

本社／営業本部　〒110-0005　東京都台東区上野7丁目7番6号　TEL: 03-3844-5062（直通）　FAX: 03-3844-5087
工　　場　〒360-0825　埼玉県熊谷市月見町２丁目１番１号　TEL: 048-521-2161　FAX: 048-521-2764

H26.06.T2,000